

# 兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 10号)

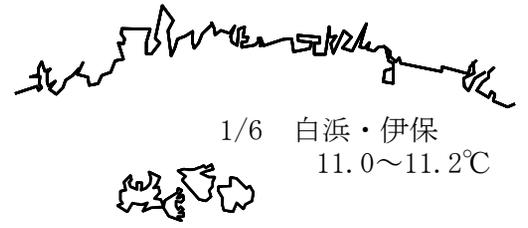
2021年 1月 7日発行  
 兵庫のみ研究所

地先漁場ではスケルトネマを主体としてリゾソレニア等数種の珪藻が多く、窒素はかなり低い状況にあります。また、沖合漁場ではこれら珪藻は散見される程度ですが、窒素は全般に  $2 \mu\text{g-at/L}$  前後とやや減少傾向にあります。

**(栄養塩、珪藻)**

地先海域はスケルトネマやリゾソレニア、連鎖して肉眼視される筒状の珪藻等数種が多く見られるが、栄養塩が枯渇していることもあり細胞の色素は薄く活力は低いと所感される。また、ユーカンピアの群体が地先を中心に少し確認されつつある。沖合海域はこれら珪藻やコシノディスカスが散見され、前回 (12/25) 調査と比較すると発生量の増加は認められないが、地先海域の栄養塩がかなり低いことから沖合海域の窒素もややベースダウンしている。

**水温図**



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	1.3	0.5	2.1	1.0
	リン	0.44	0.38	0.33	0.39
家島・坊勢	窒素	3.0	2.0	4.2	3.0
	リン	0.62	0.53	0.57	0.62

(12/25) (1/7)

**栄養塩 (窒素) 図**

2021年 1月 7日調査

